

目標達成計画

作成日：令和元年 8 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	455	ヒヤリハットが発生した際の再発防止のための取り組みや検討課題に、設備等の環境に関する視点が欠けていた。	ヒヤリハットの報告を活かし、共同スペースや居室も、誰もが安心・安全に暮らせる空間に整える。	過去のヒヤリハットも見直し、ヒヤリハットの原因が設備や環境になかったか再検討する。居室に関しては、現在の利用者様のADLIにあったものとなっているか、職員全員で検討し、必要なら家具等の配置換えも行う。	12ヶ月
2	1015	食事を楽しんでもらうための工夫と、[最後の楽しみである)食事の状態や内容をご家族にも伝える努力が欠けていた。	食事を楽しんでいただくことで、精神的にも、身体的にも充実した毎日を送っていただく。また、その内容を正しくご家族にお伝えすることで、ご家族に安心を提供する。	食事前にメニューを伝えるだけでなく、時には好きな食べ物を聞いたりし、今後の献立に反映させる取り組みにつなげる。また食事風景や、食事の内容を写真に撮り、ご家族がご覧になれるようにする。	12ヶ月
3	35	運営推進会議等で、災害時に施設を地域の避難場所に活用していただくよう提案しておきながら、避難時の備蓄に関する取り組みが出来ていなかった。	利用者様はもちろん、地域の方も、安心して避難所として利用出来るホームづくりを目指す。	当施設に必要な備蓄を試算し、可能な限りの備蓄に努める。また、今後も夜間帯の職員少人数体制時の不安解消やストレス軽減として繰り返し訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。